

【W.3.1】

xy 平面上の領域 \mathcal{D} を

$$\mathcal{D} : \begin{cases} \left(x - \frac{r}{2}\right)^2 + y^2 \geq \frac{r^2}{4} \\ (x-r)^2 + y^2 \leq r^2 \\ y \geq 0 \wedge (x, y) \neq (0, 0) \end{cases} \quad (r > 0)$$

によって定義し、この平面上的反転

$$T : x' = \frac{r^2 x}{x^2 + y^2} \wedge y' = \frac{r^2 y}{x^2 + y^2} \quad (r > 0)$$

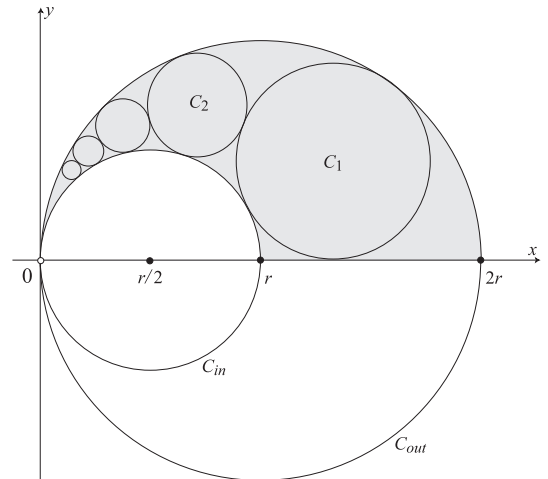
について考える.

(1) 領域 \mathcal{D} の反転 T による像の領域を図示せよ.

(2) 2 個の円

$$\mathcal{C}_{in} : \left(x - \frac{r}{2}\right)^2 + y^2 = \frac{r^2}{4}, \quad \mathcal{C}_{out} : (x-r)^2 + y^2 = r^2 \quad (r > 0)$$

と x 軸に同時に接する円を \mathcal{C}_1 とする. 更に、 \mathcal{C}_1 と \mathcal{C}_{in} , \mathcal{C}_{out} に同時に接する円を \mathcal{C}_2 とし、以下、 \mathcal{C}_n と \mathcal{C}_{in} , \mathcal{C}_{out} に同時に接する円を \mathcal{C}_{n+1} と帰納的に定めるとき、 \mathcal{C}_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) の中心の座標と半径を求めよ.



【W.3.2】

t を実数とする関数 $u(x) = (x-1)(x-2)(x-t)$ に対して、 $u'(x) = 0$ の 2 解を a, b ($a < b$) と表す。
 t の関数 $|t-a| + |t-b|$ の $1 \leq t \leq 3$ における最大値と最小値を求めよ。

【W.3.3】

3次方程式 $x^3 + 3x^2 - 1 = 0$ の1つの解を α とする.

- (1) $(2\alpha^2 + 5\alpha - 1)^2$ を $a\alpha^2 + b\alpha + c$ の形の式で表せ. ただし, a, b, c は有理数とする.
- (2) 上の3次方程式の α 以外の2つの解を(1)と同様の形式で表せ.

【W.3.4】

$k = 1, 2, \dots, n$ に対して, $\alpha_k \neq 0$ は互いに異なる複素数であり, 次の性質を満たす.
集合 $A = \{\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_n\}$ に対して,

$$\alpha_j \in A \wedge \alpha_k \in A \implies \alpha_j \alpha_k \in A \quad (1 \leq \forall j, \forall k \leq n)$$

(1) 任意の $i (= 1, 2, \dots, n)$ に対して,

$$\{\alpha_i \alpha_1, \alpha_i \alpha_2, \dots, \alpha_i \alpha_n\} = A$$

であることを示せ.

(2) A は 1 の n 乗根全体の集合であることを示せ.